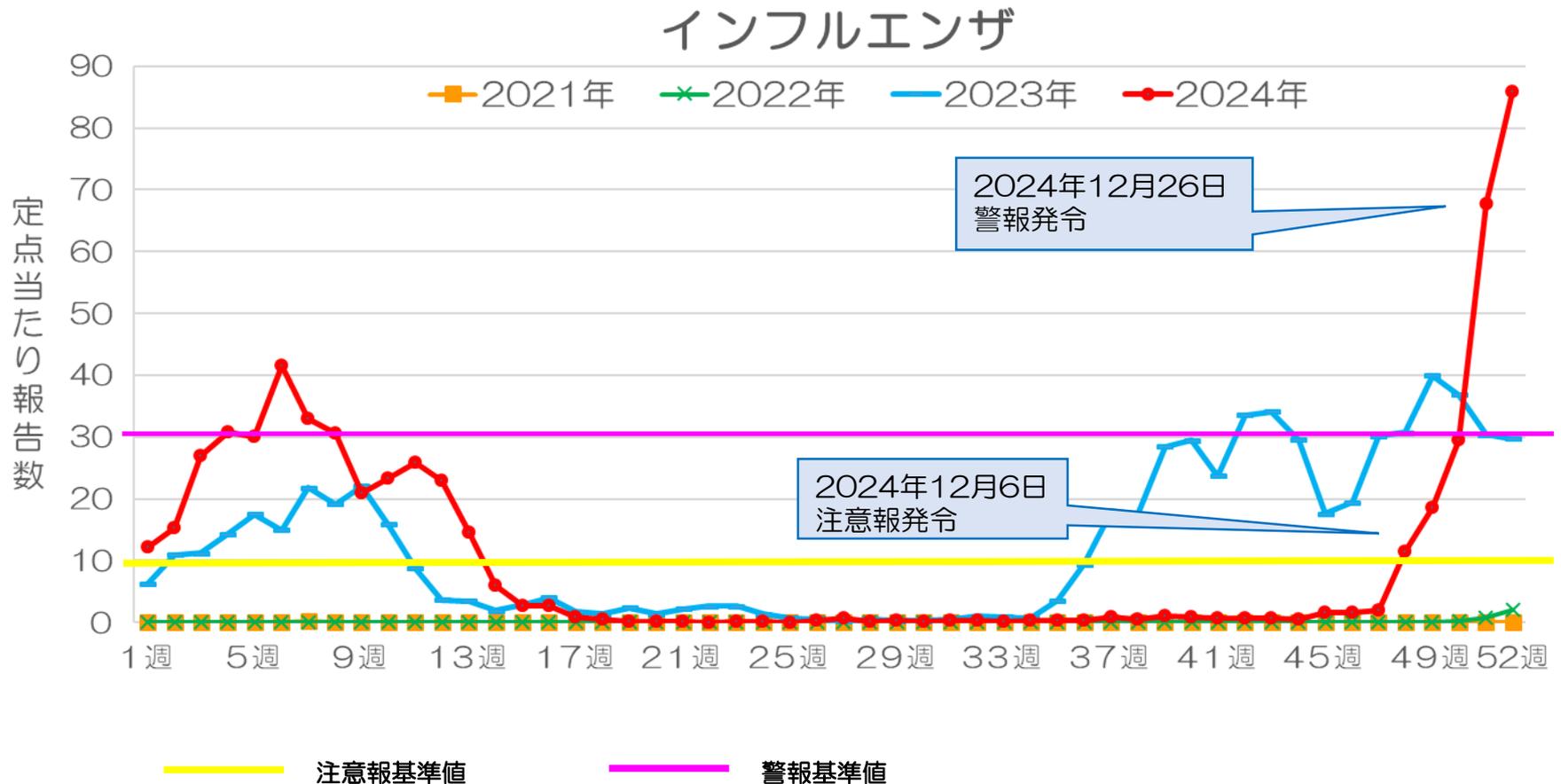


# 季節性インフルエンザ感染拡大による 医療ひっ迫等を防ぐための対応について

## ～2024-2025シーズンの状況をふまえ～

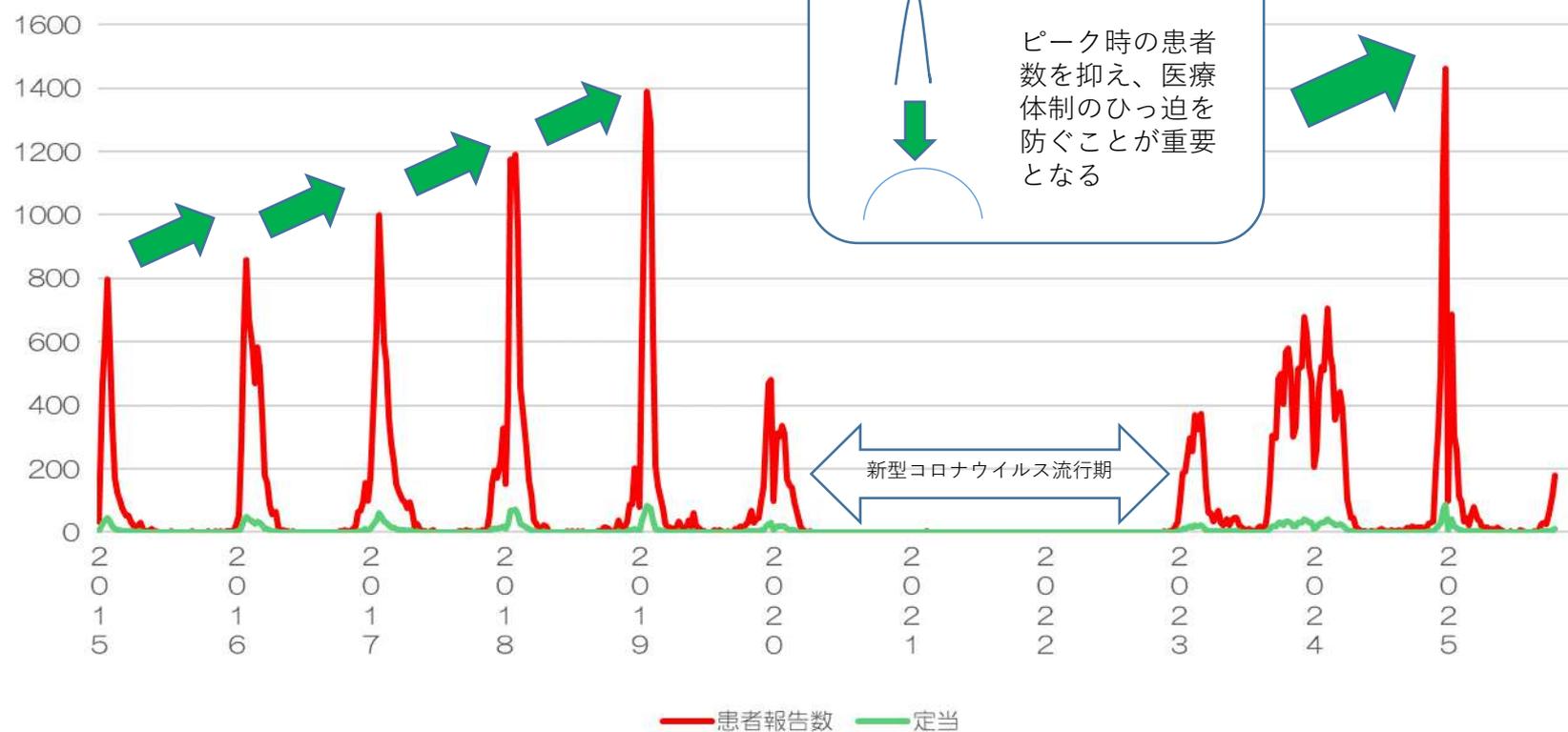
令和8年2月17日 保健所 健康危機対策課

# 市内定点医療機関におけるインフルエンザの患者報告数 (2024-2025シーズンまで)

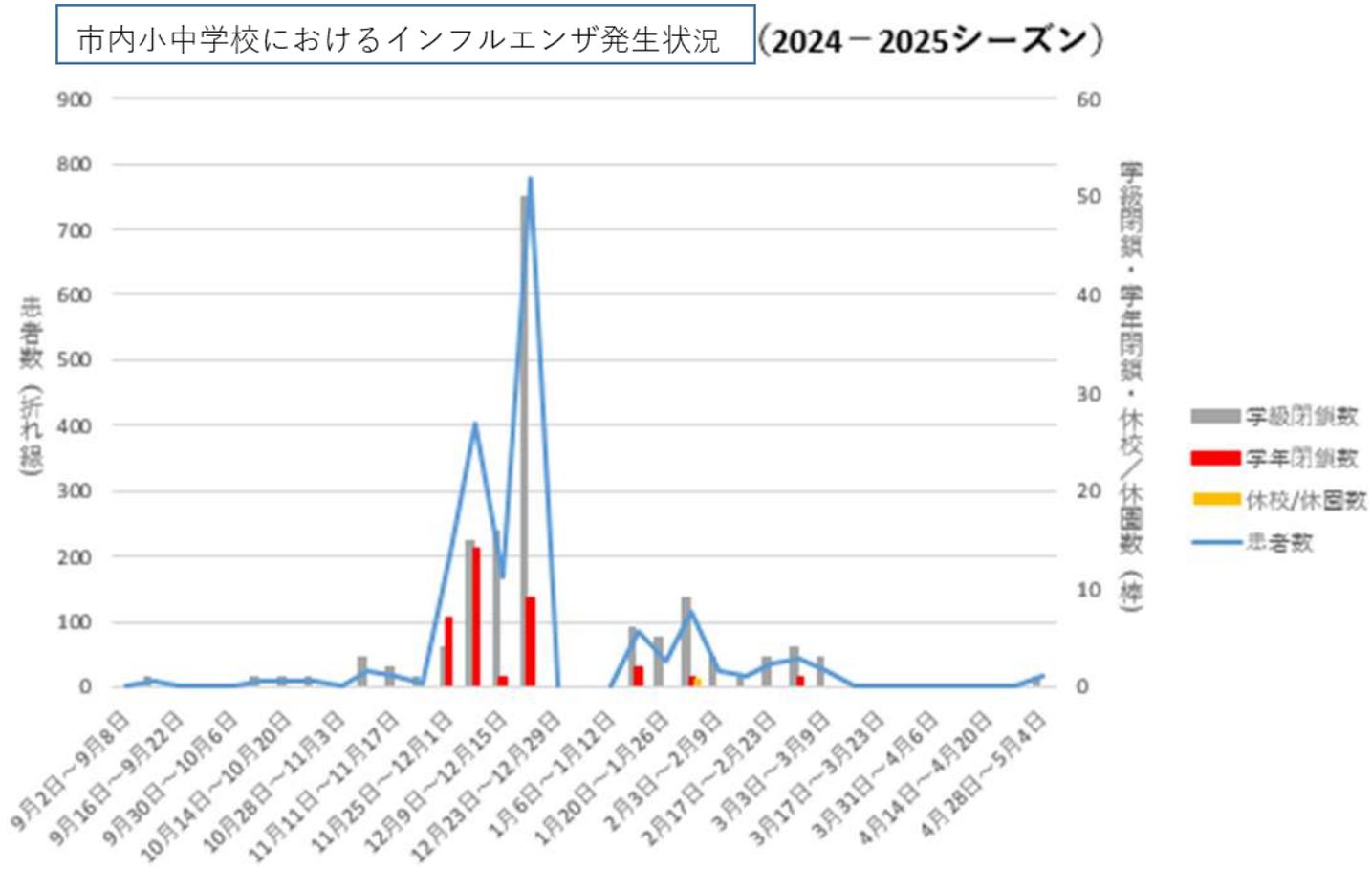


# 市内インフルエンザ10年間の推移 (2015年～2025年)

患者報告数は増加傾向です。グラフ線も年々鋭角になっており、感染拡大のスピードも速まっている



# 市内小中学校におけるインフルエンザ発生状況 (2024-2025シーズン)



# 令和6年11月～令和7年2月の 救急搬送に関するデータから見える傾向①

全体の傾向としては令和6年12月と令和7年1月には、救急出動件数の増加に伴い、**搬送・不搬送件数がともに増加**していた。

救急出動件数回数				
( ) 内は急病に関する数値				
	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月
救急出動件数	3,275 (2,133)	4,237 (2,881)	3,788 (2,635)	3,258 (2,184)
搬送件数	2,628 (1,727)	3,344 (2,278)	2,918 (2,050)	2,583 (1,756)
不搬送件数	647 (406)	893 (603)	870 (585)	675 (428)

搬送・不搬送件数ともに増加 

# 令和6年11月～令和7年2月の 救急搬送に関するデータから見える傾向②

令和7年1月は、発熱、肺炎等の患者等の搬送先として多くの病院に  
問い合わせを行っており、**待機時間が長丁場**となっていた。

## 現場での待機時間（最長）

	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月
搬送事案	163分（158分）	308分（308分）	694分（694分）	335分（335分）
不搬送事案	194分（194分）	220分（207分）	448分（384分）	318分（200分）

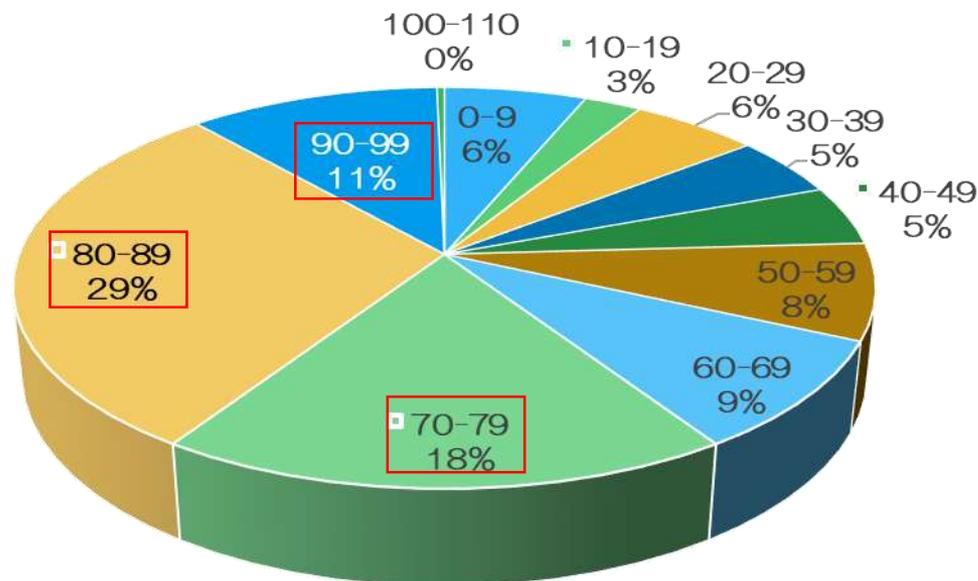
現場待機時間の最大値が増加



# 令和6年11月～令和7年2月の 救急搬送に関するデータから見える傾向③

令和6年11月～令和7年2月の4カ月間において、急病での搬送者は7,831人で、  
そのうち4,639人 (58%) が70歳以上であった。

0-9	490	60-69	699
10-19	198	70-79	1,447
20-29	441	80-89	2,299
30-39	381	90-99	867
40-49	377	100-110	26
50-59	606	総計	7,831

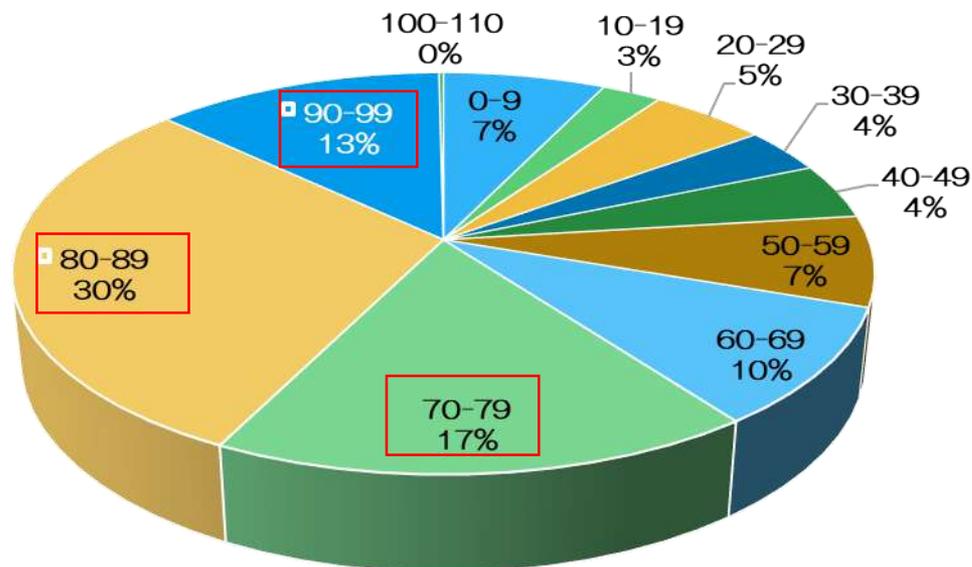


70歳以上が  
58%を占める！

# 令和6年11月～令和7年2月の 救急搬送に関するデータから見える傾向④

令和7年1月における急病での搬送者は2,057人で、  
そのうち1,237人（60%）が70歳以上であった。

0-9	147	60-69	196
10-19	54	70-79	360
20-29	106	80-89	611
30-39	75	90-99	262
40-49	92	100-110	4
50-59	150	総計	2,057

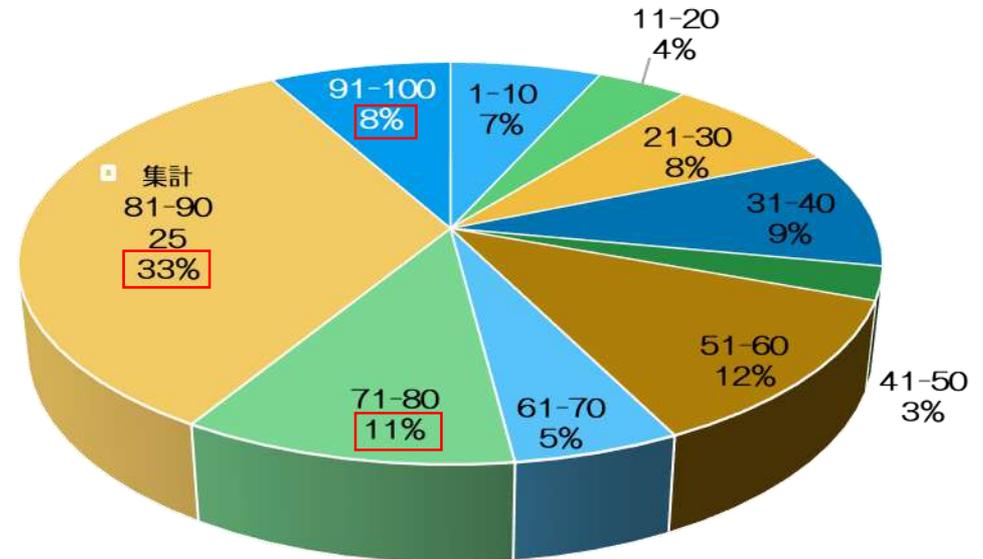


70歳以上が  
60%を占める！

# 令和6年11月～令和7年2月の 救急搬送に関するデータから見える傾向⑤

令和6年11月～令和7年2月の4カ月間において、  
急病での搬送者の中でインフルエンザ（疑い含む）が確認された搬送者は75人で、  
そのうち39人（52%）が70歳以上であった。

1-10	5	61-70	4
11-20	3	71-80	8
21-30	6	81-90	25
31-40	7	91-100	6
41-50	2	総計	75
51-60	4		



70歳以上が  
52%を占める！

# 令和6年11月～令和7年2月の 救急搬送に関するデータから見える傾向⑥

令和7年1月の搬送者数は、令和6年11月との比較で、80～90歳代の増加が顕著であり、増加の内訳はインフルエンザ様症状の患者が約6割を占めている。入所施設からの救急要請にも増加がみられる。

下段の数値は、R6.11と比較した増減

令和7年1月	0～ 9	10～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～ 89	90～ 99	100～ 110
急病による搬送者数	147 +67	54 +3	106 +13	75 ▲20	92 ±0	150 +2	196 +28	360 +32	611 +119	262 +89	8 ▲4
インフルエンザ様症状*	17 +12	11 +5	7 +1	7 +1	15 +3	12 ±0	23 +14	58 +12	161 +79	88 +60	3 +1
老人ホーム等より要請								15 +7	56 +25	43 +29	2 +2

※ 発熱、SAT低下、呼吸苦、肺炎等

# 季節性インフルエンザ感染拡大に備える 周知・注意喚起①

- ✓ **市ホームページでの周知**  
10月8日更新（定期接種の案内が届く時期）  
「この冬、年末年始に向けた感染症対策～発熱などの体調不良時への備えをお願いします～」  
随時更新「インフルエンザ様疾患の感染拡大防止について」
- ✓ **自治会、町会等へのリーフレット配布**  
10月22日より配布希望受付開始。4,000部ほど配布
- ✓ **学校や保育所等の施設への注意喚起メール（市医師会と情報共有）**  
11月7日付「インフルエンザ等感染症への感染対策の強化について」
- ✓ **高齢者施設、障害者施設等への注意喚起メール**  
11月21日付「インフルエンザ等感染症への感染対策の強化について」
- ✓ **広報ふなばし掲載**  
12月1日号「この冬の感染症対策～日頃からの備えで、流行期を乗り越えよう～」
- ✓ **市民向けメール、Xの配信による臨時注意喚起**  
10月24日（注意報基準値超え時）、11月14日（警報基準値超え時）

# 季節性インフルエンザ感染拡大に備える 周知・注意喚起②



## 市ホームページ

「この冬、年末年始に向けた感染症対策 ～発熱などの体調不良時への備えをお願いします～」

### 周知内容：

- ①体調不良時に必要な薬や食品・飲料の準備
- ②年末年始に診療している医療機関の確認
- ③年末年始の相談先の確認
- ④予防接種（65歳以上の定期接種）の勧奨



## 広報ふなばし

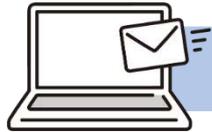
12月1日号第5面

「この冬の感染症対策～日頃からの備えで、流行期を乗り越えよう～」

### 周知内容：

- ①日頃からできる感染予防
  - ▶手洗い、咳エチケット、換気など
- ②体調不良時の相談先や  
受診できる医療機関の確認

# 季節性インフルエンザ感染拡大に備える 周知・注意喚起③



## 注意喚起メール



## リーフレット配布

### 学校、保育所等への主な周知内容：

- ①換気、健康観察、咳エチケットなどの基本的な対策
- ②給食等の具体的な活動場面での対策
- 保護者向けのリーフレットも配布

### 高齢者施設、障害者施設への主な周知内容：

- ①組織としての対策（職員の体調管理、**感染者が発生した際の早期の対応※**など）と個人の対策（マスク着用、手指消毒など）の徹底

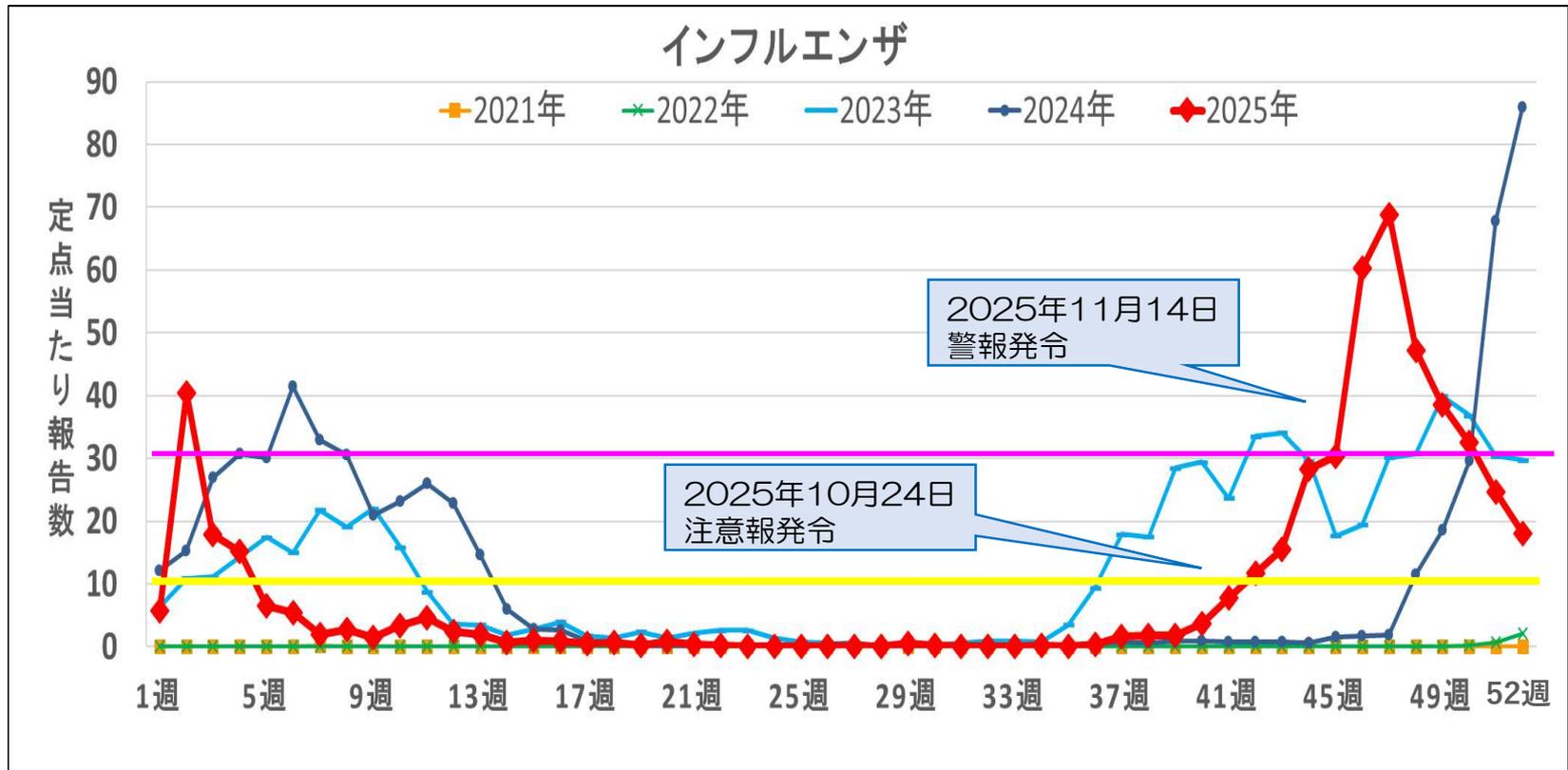
※施設内で感染者（疑い含む）が**5名**以上発生した場合は、保健所に報告

「この冬の感染症対策～発熱などの体調不良時への備えを～」

### 周知内容：

- ①基本的な予防策
  - 手洗い、咳エチケット、換気など
- ②体調不良時への備え
  - マスク、体温計、解熱鎮痛薬等の準備
- ③体調不良時の相談先や受診できる医療機関の確認

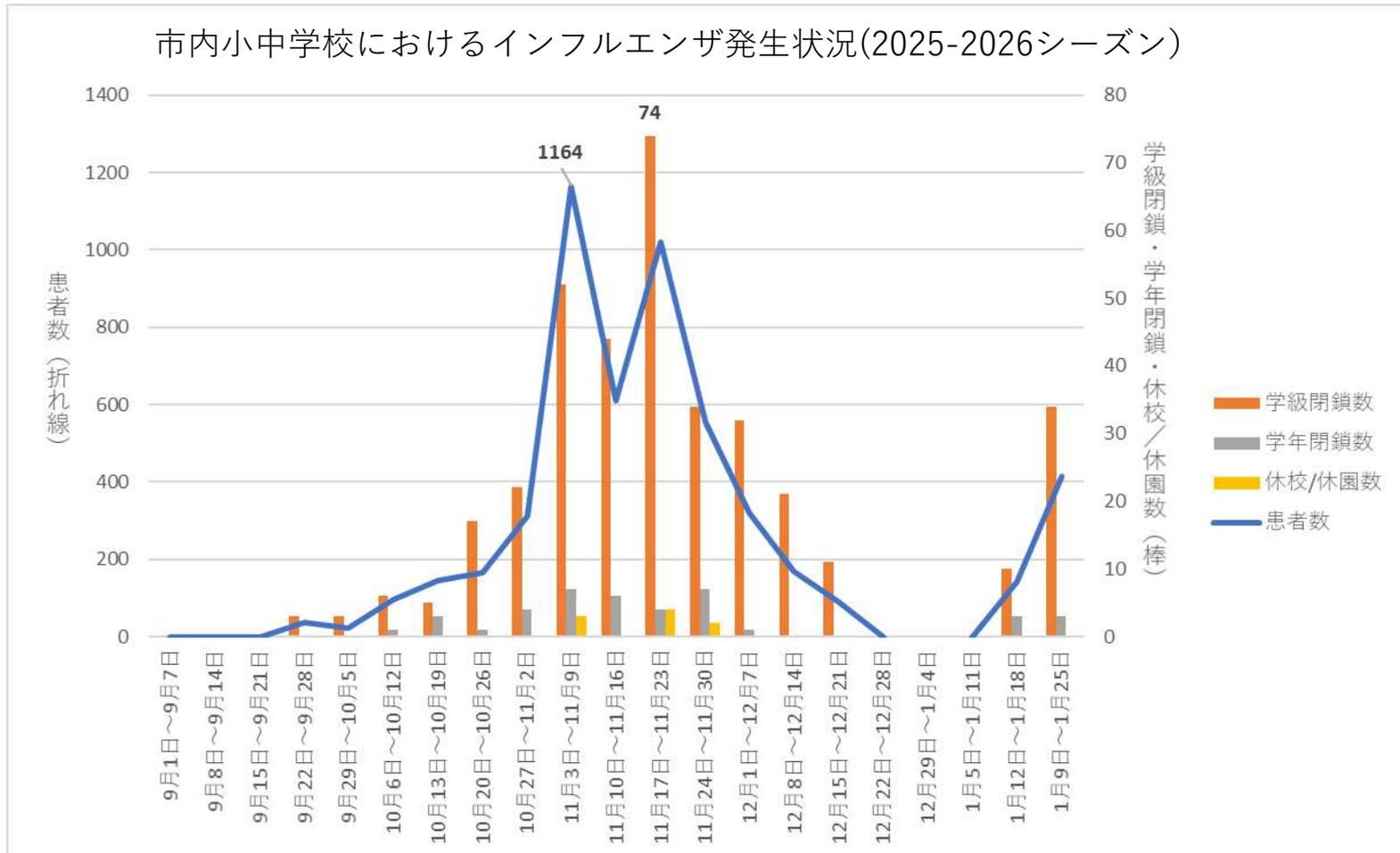
# 市内定点医療機関におけるインフルエンザの患者報告数 (2025-2026シーズンまで)



注意報基準値

警報基準値

# 市内小中学校におけるインフルエンザ発生状況 (2025-2026シーズン)

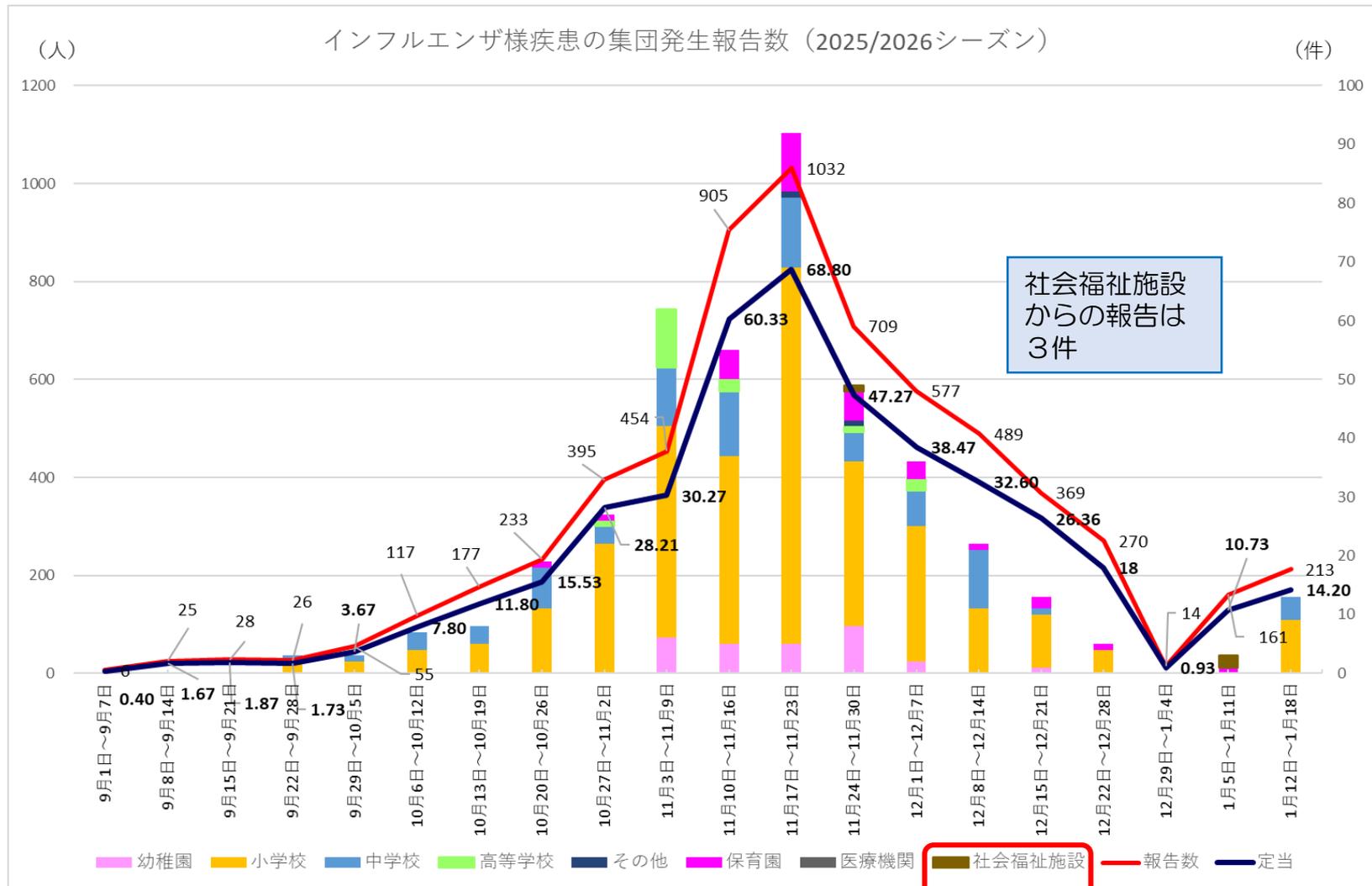


# 今シーズンの重点的な取り組み

## 高齢者施設等での集団感染を抑えるため対応

- 施設長あてに、組織としての対策（職員の体調管理、保健所への早期の報告、食事場面での対策等）および個人の対策（マスク着用、手指衛生）の徹底を周知
- 国の報告基準である「感染者10名以上」の基準を引き上げ、「感染者が5名以上発生」した段階で、保健所が施設からの報告を受け付け、状況を把握
- 報告のあった施設に対して、感染対策等の助言

# 市内インフルエンザ様疾患の集団発生報告数 (2025-2026シーズン)



# 高齢者施設・障害者施設からの集団発生 報告件数

昨シーズン（2024-2025シーズン）			
	合計	2024年12月	2025年1月
5名以上感染			
10名以上感染	14件	6件	8件



令和8年1月末時点での報告件数

今シーズン（2025-2026シーズン）			
	合計	2025年12月	2026年1月
5名以上感染	4件	4件	0件
10名以上感染	3件	1件	2件

## 学校での感染拡大への対応

- 今シーズンの学校欠席者等のデータを用いて、学校ごとの傾向を分析
- 各学校や学校医とも情報を共有・連携した上で、有効な対策を検討